

(様式第4号)

上田中央地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田中央地域協議会
2 日時	平成27年12月10日 午後3時から午後5時まで
3 会場	中央公民館 2階 第1会議室
4 出席者	岩野委員、太田委員、河田委員、神林委員、桐島委員、久保田委員、栗内委員、坂下委員、篠原委員、伴委員、古川委員、松澤委員、宮坂委員、宮島委員、山浦委員
5 市側出席者	神林地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進課長補佐、北沢市民参加・協働推進担当係長、樋口市民参加・協働推進担当主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年12月22日

協 議 事 項 等

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議

(1)地域内分権の推進について

- ・担当課より資料を基に説明(担当:市民参加・協働推進課)
- ・以下、意見・質疑応答

(委員) 地域協議会の委員構成について、各地域における地域性が違うと思うので、地域が均等になるよう選出をお願いしたい。

(担当課) 上田中央地域は特に各地域で地域性が異なる地域なので、行政側としてもどのように進めていくか悩んでいるところではある。今後も意見交換をしながら進めていきたい。

(委員) 北部地区自治会連合会の会合を月に1回行っているが、更に自治連とは別の組織を作るというのは意味があるのか。

(委員) 住民自治組織の任期は3~5年必要だと思う。多くの自治会長は任期が1、2年のため継続して進めていくことが難しいのではないかと。事務局のようなものを作り、専門的に核となって進めていくというのも一つの案だと思う。

(担当課) 先進地の中では事務局や事務局長を置いているところもあるので、色々な事例を紹介しながら進めていきたいと思う。

(委員) 住民自治組織が、将来的に法人化を選択というのはどうなのか。

(担当課) 法人化されるとしても、先の話になると思う。先進地の中には収入もあり独自で運営しているところもある。軌道に乗ってくれば、最終的にそのような形になるのが理想だと思う。

(委員) 法人というのは、社団法人等を考えているのか。

(担当課) 詳しい内容までは把握していないが、先進地の中で法人化している組織があるというのは聞いている。

(委員) 住民自治組織での交付金はどれくらいの規模の予算で考えていて、財源はどこからくるのか説明をお願いしたい。

(担当課) 交付金の規模や財源に関しては検討中である。

(委員) 交付金が数十万～数百万円の中で運営される組織のメリットとは何か。

(担当課) 住民の意思で使える交付金を制度化することにより、地域課題解決のためのきめ細かな事業をより早く進められることが考えられる。

(委員) 住民自治組織の取組はわがまち魅力アップ応援事業で取り組んでいる事業が多い感じがするが住民自治組織ができたなら何をするのか、わかりやすい柱みたいなものを示してほしい。

(担当課) 取組例として挙げているものは、先進地で実際に取り組まれている事例だが、取り組むものに関しては、わがまち魅力アップ応援事業で実施されてきた事業のようなことが適していると思う。

(2)その他

・特になし

4 当面の日程

ア	1月14日(木)	13:00	意見書手交式	市役所本庁舎3階	第1応接室
イ	1月21日(木)	13:30	地域協議会	中央公民館3階	大会議室
ウ	2月18日(木)	13:30	地域協議会	中央公民館2階	第1会議室
エ	3月16日(木)	13:30	地域協議会	中央公民館2階	第1会議室

5 閉会